年間授業計画　様式例

高等学校 令和５年度（２学年用） 教科　数学　　科目 基礎からの数学

教　科：　数学　　科　目：　基礎からの数学　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　2 学年　1 組～　7 組

教科担当者：（　宮川・小野原　）

使用教科書：（ なし　　）

教科　数学　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】小中学校で扱う基本的な計算技能を身につける

【思考力、判断力、表現力等】文章題において、適切な演算方法を考察することができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】

科目　基礎からの数学　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
割合・速さ・濃度・場合の数などについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身につけるようにする。	様々な文章題について、適切な演算方法を判断し、計算式を適切に表現する技術を身につけるようにする。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A 分数と小数 【知識及び技能】 分数と小数の関係の理解し、適切に計算できるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 文章題について、途中式を適切に立て、数式で表現できるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 身近な例について、数学を活用する態度を養う	自主編成教材を使用する。	【知識・技能】 分数と小数の関係を理解できたか 【思考・判断・表現】 適切な途中式をたてることができたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習内容を身近な事象に利用することができたか。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		2
	A 速さ 【知識及び技能】 速さ・時間・距離の関係の理解し、適切に計算できるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 文章題について、途中式を適切に立て、数式で表現できるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 身近な例について、数学を活用する態度を養う	自主編成教材を使用する。	【知識・技能】 速さ・時間・距離の関係を理解できたか 【思考・判断・表現】 適切な途中式をたてることができたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習内容を身近な事象に利用することができたか。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		2
2学期	C 割合 【知識及び技能】 比べる量と比べられる量の関係の理解し、適切に計算できるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 文章題について、途中式を適切に立て、数式で表現できるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 身近な例について、数学を活用する態度を養う	自主編成教材を使用する。	【知識・技能】 比べる量と比べられる量の関係を理解できたか 【思考・判断・表現】 適切な途中式をたてることができたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習内容を身近な事象に利用することができたか。	○	○	○	12
	D 濃度と比 【知識及び技能】 濃度と比の関係の理解し、適切に計算できるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 文章題について、途中式を適切に立て、数式で表現できるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 身近な例について、数学を活用する態度を養う	自主編成教材を使用する。	【知識・技能】 濃度と比の関係を理解できたか 【思考・判断・表現】 適切な途中式をたてることができたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習内容を身近な事象に利用することができたか。	○	○	○	12
3学期	E 場合の数 【知識及び技能】 順列と組み合わせの関係の理解し、適切に計算できるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 文章題について、途中式を適切に立て、数式で表現できるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 身近な例について、数学を活用する態度を養う	自主編成教材を使用する。	【知識・技能】 順列と組み合わせの関係を理解できたか 【思考・判断・表現】 適切な途中式をたてることができたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習内容を身近な事象に利用することができたか。	○	○	○	18
							合計 70